

岡山県人材育成・確保基本方針（改訂版） 概要

背景

- ・少子化、高齢化、生産年齢人口の減少
- ・価値観の多様化
- ・災害、感染症などの新たなリスクの顕在化
- ・デジタル社会の進展

課題

- ・公務の担い手確保
- ・ますます複雑・多様化する課題への対応
- ・より効率的、効果的で持続可能な行財政の経営

県政の基本目標：生き生きおかやまの実現

求められる職員像

<基本姿勢>

- リーダーシップを発揮する職員
- コスト感覚を持つ職員
- スピード感覚を持つ職員
- 県民の視点に立つ職員

<求められる能力>

- 一般職員
情報収集、思考、説明、実行、改善など
- 班長
班の運営、育成、他班との調整など
- 所属長
所属の運営、育成、統率、責任意識など

人材育成・確保の基本的な方向

1 人材の育成

知識・技能の習得に向けた取組の充実を図り、職員の成長・キャリア形成を支援する。

[人材の育成手法の充実]

自治研修所や所属での知識・技能の習得、多様な経験の機会の確保、主体的なキャリア形成への支援、人事評価制度 など

2 人材の確保

公務の魅力発信や試験方式の工夫等を行い、有為な人材の確保につなげる。

[公務の魅力の発信] 採用説明会、ホームページ・SNS等の活用 など

[試験方式の工夫等] 採用環境の変化に応じた柔軟な採用手法の検討 など

[多様な人材の確保] 民間・公務経験者等の採用 など

3 職場環境の整備

働きやすさを向上させる制度の充実や職場の雰囲気づくりにより、職員が能力を最大限に発揮し、意欲を持って働くことができる環境を構築し、人材育成や確保につなげる。

[多様な人材の活躍を可能にする職場環境の整備]

ワーク・ライフ・バランスの実現、健康管理等に関する取組

[働きやすい職場の雰囲気づくりの促進]

コミュニケーションの活性化、改善に取り組む風土の醸成

[職員のエンゲージメントの把握]

個々の職員や組織が抱える課題の把握

4 デジタル人材の育成・確保

岡山県デジタル人材育成方針に基づく取組を推進する。